

---

## 「CIM 事業における成果品作成の手引き」 にもとづくデータを作成した場合の注意点について

---

### はじめに

TREND-CORE を使用して「CIM 事業における成果品作成の手引き」にもとづいたデータを作成した場合の注意事項についてまとめました。

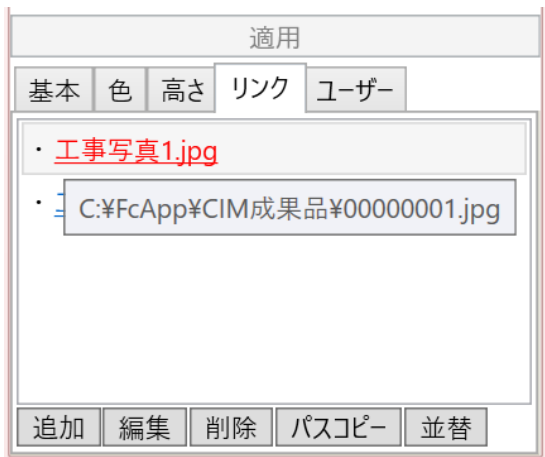
### 統合モデル出力について

[書込み]タブ－[CIM 成果]－[統合モデル]を実行して出力します。



オブジェクトに関連付けられたリンクファイルは出力先フォルダにコピーされ、オブジェクトのリンクファイルパスは出力先フォルダパスに変更されます。

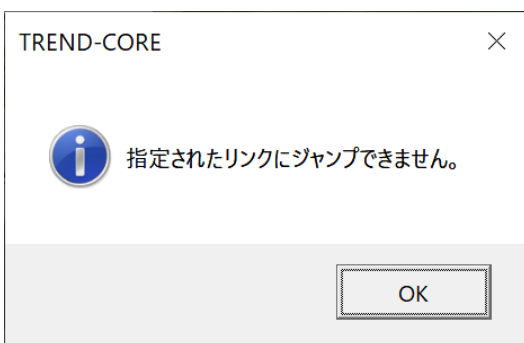
・統合モデル出力前



・統合モデル出力後



ただし、リンクファイルは相対パスではなくフルパスで保持されているため、出力した統合モデルデータを別のコンピュータ・異なるフォルダへ移動した場合はリンク切れが発生します。



リンク切れが発生した場合、TREND-CORE の[モデル]タブ - [リンクプロパティ更新]を使用することでリンク切れを解消することができます。

コマンドを実行すると、以下のようにリンク切れしたファイルが赤色表示されます。

リンクプロパティ更新

リンク切れ更新 CIMPHONY一括登録

リンクされているファイルのフォルダパスを新しいフォルダパスに更新します。背景が赤のリンクはリンク切れを起こしているファイルです。

リンク名	リンクパス
00000001(写真オブジェクト)	C:\¥FcApp¥CIM成果品¥00000001.jpg
00000003(写真オブジェクト)	C:\¥FcApp¥CIM成果品¥00000003.jpg
00000004(写真オブジェクト)	C:\¥FcApp¥CIM成果品¥00000004.jpg
00000007(写真オブジェクト)	C:\¥FcApp¥CIM成果品¥00000007.jpg
00000009(写真オブジェクト)	C:\¥FcApp¥CIM成果品¥00000009.jpg
工事写真1.jpg	C:\¥FcApp¥CIM成果品¥ICON¥CIM¥INTEGRATED_MODEL¥ATTRIBUTE¥LinkFile¥0001_位置情報¥
工事写真2.jpg	C:\¥FcApp¥CIM成果品¥ICON¥CIM¥INTEGRATED_MODEL¥ATTRIBUTE¥LinkFile¥0001_位置情報¥

訂正するフォルダパス

新しいフォルダパス

リンク切れパスのみ対象にする

以下のように、リンク切れしているフォルダパスと移動先の新しいフォルダパスを指定し、「適用」ボタンを押します。

訂正するフォルダパス

新しいフォルダパス

リンク切れパスのみ対象にする

以下のようにパスが変換されてリンク切れが解消されます。

リンクプロパティ更新

リンク切れ更新 CIMPHONY一括登録

リンクされているファイルのフォルダパスを新しいフォルダパスに更新します。背景が赤のリンクはリンク切れを起こしているファイルです。

リンク名	リンクパス
00000001(写真オブジェクト)	E:\MyData\CIM成果品¥00000001.jpg
00000003(写真オブジェクト)	E:\MyData\CIM成果品¥00000003.jpg
00000004(写真オブジェクト)	E:\MyData\CIM成果品¥00000004.jpg
00000007(写真オブジェクト)	E:\MyData\CIM成果品¥00000007.jpg
00000009(写真オブジェクト)	E:\MyData\CIM成果品¥00000009.jpg
工事写真1.jpg	E:\MyData\CIM成果品¥ICON¥CIM¥INTEGRATED_MODEL¥ATTRIBUTE¥LinkFile¥0001_位置情報
工事写真2.jpg	E:\MyData\CIM成果品¥ICON¥CIM¥INTEGRATED_MODEL¥ATTRIBUTE¥LinkFile¥0001_位置情報

訂正するフォルダパス C:\FcApp¥CIM成果品

新しいフォルダパス E:\MyData¥CIM成果品

リンク切れパスのみ対象にする

写真オブジェクトに設定された画像ファイルは出力されません。

データ移動するとリンク切れが発生するので、上記同様[リンクプロパティ更新]で解消してください。

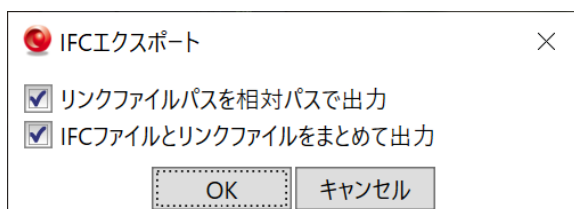


## IFC ファイル出力について

[書込]タブ – [IFC 出力]を実行して出力します。



出力時に以下のように設定することで、IFC ファイルを移動してもリンク切れは発生しません。



[書込み]タブ – [CIM 成果] – [構造物モデル出力]を実行した場合、自動的に上記設定で出力されます。

## ビューアデータ出力について

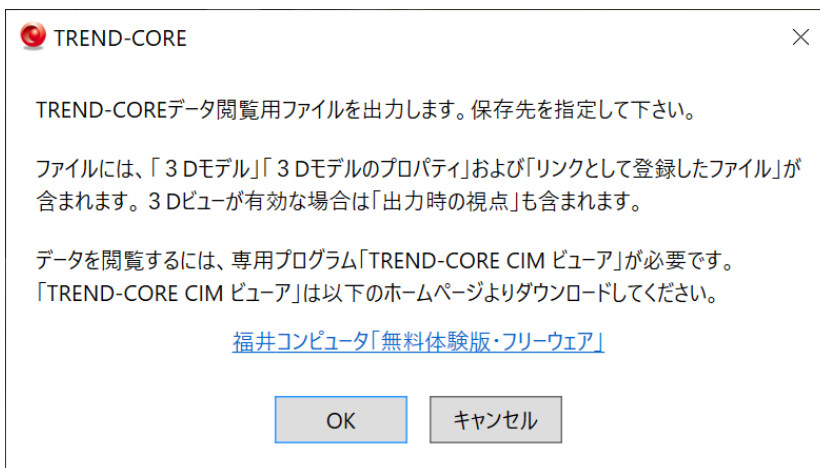
[書込]タブ – [ビューアデータ出力]を実行して出力します。



オブジェクトに関連付けられたリンクファイルは、ビューアデータに含まれる形で出力されます。

そのため、データを移動してもリンク切れは発生しません。写真オブジェクトについても同様です。

ただし、ビューアデータを閲覧するには、「TREND-CORE CIM ビューア」をダウンロードしてインストールする必要があります。



<https://const.fukuicompu.co.jp/download/>

以上